

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
●URL <https://www.teijin.co.jp>

2018年 2月13日

高度なコンパウンド技術で高付加価値を創出 高機能PPSコンパウンドを「SOLFIGA®」ブランドで展開

帝人株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：鈴木 純）は、SKケミカル社（本社：韓国・ソナム市）との合併会社であるイニッツ社が生産するポリフェニレンサルファイド（PPS）樹脂と帝人グループの高機能素材を高度なコンパウンド技術によって組み合わせることで高機能な特殊コンパウンドを生産し、「SOLFIGA®」（ソルフィガ）ブランドとして本格展開することとしました。

1. 背景

- （1）スーパーエンジニアリングプラスチックの1つであるPPS樹脂は、耐熱性や耐薬品性、機械的強度などに優れ、自動車やエレクトロニクス部品などに広く使用され、需要が急速に拡大していますが、従来のPPS樹脂には塩素やナトリウムが多く残存し、金型の腐食や金属部品の接触不良などの原因となる恐れがありました。
- （2）一方、当社は自動車やエレクトロニクス分野に向けて主にポリカーボネート（PC）樹脂とそのコンパウンド製品などを幅広く展開しており、顧客の様々なニーズに対応するため、樹脂のラインナップ拡大、およびコンパウンドや樹脂製品部材提供によるソリューション提供力の向上に取り組んでいます。
- （3）こうした中、当社は2013年9月、革新的なプロセスにより塩素やナトリウムを含まないPPS樹脂の生産技術を持つSKケミカル社との合併により、PPS樹脂およびそのコンパウンドの製造・販売を手掛けるイニッツ社を設立し、同年10月に年産1.2万トンの生産能力を有する量産工場建設に着手しました。
- （4）そして、このたび当社は、部品の軽量化や意匠性の向上など様々な顧客ニーズに応え、幅広いソリューションを提案するため、イニッツ社が生産するPPS樹脂と、帝人グループの高機能素材を高度なコンパウンド技術によって組み合わせることで、高機能な特殊コンパウンドを開発し本格的に展開することとしました。

2. 「SOLFIGA®」について

イニッツ社が生産するスーパーエンブラであるPPS樹脂と、帝人グループが保有する炭素繊維、アラミド繊維や特殊PC樹脂などの高機能素材とを組み合わせることにより、帝人ならではの様々な機能を付与し、高度な顧客ニーズに対応できる特殊PPS樹脂コンパウンドを生産し、「SOLFIGA®」ブランドとしてグローバルに展開していきます。

グレード	特長	用途
PPS／炭素繊維	高強度、高剛性、導電性	構造部品、機構部品
PPS／アラミド繊維	摺動性、耐摩耗性、耐衝撃性	ギア、摺動部品
PPS／特殊導電性繊維	電磁波シールド特性	通信機器、コネクタ
PPS／PCアロイ	耐衝撃性、耐薬品性 (PC 対比)	外装部品、機構部品

3. 今後の展開

- (1) 「SOLFIGA®」は、2月14日～16日に東京ビッグサイトで開催される「新機能性材料展 2018」において展示します。(ブース番号：3F-24)
- (2) 既に「SOLFIGA®」のサンプルワークは開始しており、採用事例も出ていることから、当社三原事業所で行っている生産を拡大し、将来的には中国・上海市にある帝人化成複合塑料(上海)有限公司やテイジン・コーポレーション(タイランド)社においても生産する計画で体制構築を進めていきます。
- (3) 当社は、長年培ってきたコンパウンド技術を活かし、顧客ニーズに応じた新たなソリューションをグローバルに提供することにより、自動車やエレクトロニクス分野を中心に「SOLFIGA®」ブランドの浸透を図り、2025年には「SOLFIGA®」ブランドでの売上高30億円を目指します。(イニッツ社のブランドである「ECOTRAN®」での販売を含まない)

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055